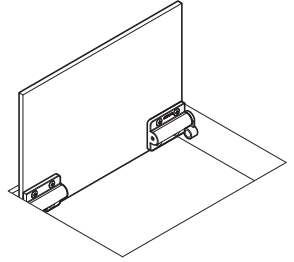


LAMP. 自開式ダンパーヒンジ HG-JHS9型 取付説明書

このたびは、弊社製品をご採用いただき、ありがとうございます。取付作業前に本説明書をよくお読みの上、正しく取り付けてください。取付後は本書をいつでも取り出せるよう保管してください。

本製品について

- **特長**
 - ・小型のダンパーで、装置などの小型蓋に最適です。
 - ・プッシュラッチなどと併用することで、上蓋をソフトにポップアップさせることができます。
- **用途**： 会議テーブル用配線孔の小型の蓋、機械装置の小型のカバーなど（プッシュラッチ等と併用）
- **使用範囲**： サイズ・重量がダンパーのトルク以下となる蓋（**仕様**の表、および蓋の最大モーメントの求め方を参照）
- **使用温度範囲**： 0～40℃



仕様 本説明書は、キャビネットを正面から見て、向かって左側を“左”としています。

注文コード	品番	色	取付タイプ	ダンパートルク
170-028-293	HG-JHS9-S-BL	ブラック	側面付	0.035±0.008N・m
170-028-294	HG-JHS9-S-WT	ホワイト		
170-028-295	HG-JHS9-U-BL	ブラック	裏面付	
170-028-296	HG-JHS9-U-WT	ホワイト		

図記号の意味

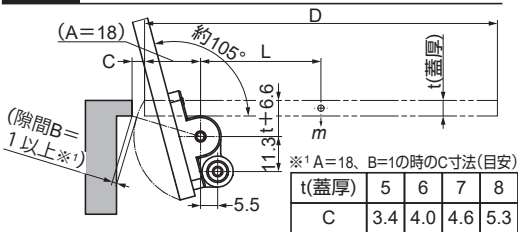


使用上の注意 軽傷を負うことや、物的損害が発生するおそれがある内容を示します。

- ⓧ この製品は屋内用です。屋外や水のかかる所には使用しないでください。
 - ⓧ 本来の目的とは異なる使用方法や本書に示す仕様以外の蓋には使用しないでください。
 - ⓧ ダンパーに過大な外力を加えないでください。破損の原因になります。
- ※ 一般的に、使用温度が上がるとダンパー特性は弱くなり、温度が下がると強くなりますが、異常ではありません。

側面付けタイプ		裏面付けタイプ	
<p>構成部品</p> <p>① プラケット…2ヶ R側：ダンパー取付済み L側：ばねユニットを取り付ける。</p> <p>② ばねユニット…1ヶ</p> <p>③ 側面付受座…左右各1ヶ（L・Rの表示あり）</p> <p>・取付ねじ（別途ご用意ください） 皿ねじ M3…4本 バンドねじM3または木ねじ 3.1またはタッピングねじ…8本</p>	<p>正面図</p> <p>① ダンパー（L側はばねユニット）</p> <p>②</p> <p>裏面図 4×φ3.5穴 ざぐりφ7.2深さ2</p>	<p>構成部品</p> <p>① プラケット…2ヶ R側：ダンパー取付済み L側：ばねユニットを取り付ける。</p> <p>② ばねユニット…1ヶ</p> <p>③ 裏面付受座…左右各1ヶ（L・Rの表示あり）</p> <p>・取付ねじ（別途ご用意ください） バンドねじM3または木ねじ 3.1またはタッピングねじ…12本</p>	<p>正面図</p> <p>① ダンパー（L側はばねユニット）</p> <p>②</p> <p>裏面図 4×φ3.5穴 ざぐりφ7.2深さ2</p>
<p>蓋取付穴位置（裏面より見た図）</p> <p>W1=本体の内寸-6</p>		<p>蓋取付穴位置（裏面より見た図）</p> <p>W2=本体の内寸-3</p>	

取付例



- 蓋を開けた時の隙間Bは、1mm以上になるようにしてください。
- 蓋を閉じた位置で保持するための、プッシュラッチなどを設けてください。

蓋の最大モーメントの求め方

$T = m \times 9.8 \times L$ T: 蓋の最大モーメント(N・m)
 $L = D/2 - A$ m: 蓋の質量(kg)
 L: 回転中心から蓋の重心までの距離(m)
 D: 天蓋の長さ(m)
 A: 回転中心から蓋後側の長さ(m)

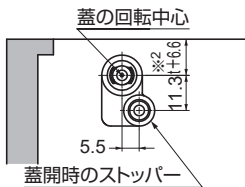
(計算例) D=0.12 m, A=0.018 m, m=0.085 kgとすると
 $T = 0.085 \times 9.8 (0.12/2 - 0.018) = 0.035 \text{ N} \cdot \text{m}$

取付手順

側面付けタイプ

1. 側面付受座の取付け

- 図の位置にねじの下穴を開ける。
- 側面付受座を、皿ねじM3または皿木ねじか皿タッピンねじ呼び3 2本で取り付ける。

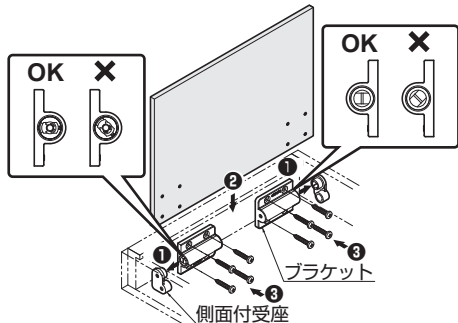


※2 この寸法は閉じた時に、蓋と側板を上面の高さをそろえる場合の寸法です。

△ 受座の左右に注意してください(L・Rの表示あり)。

2. ブラケットおよび蓋の取付け

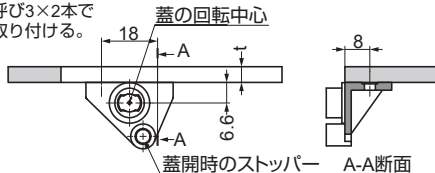
- ①～③の順に取り付ける。



裏面付けタイプ

1. 裏面付受座を取付け

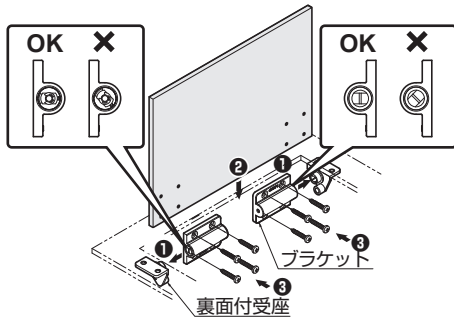
- 図の位置にねじの下穴を開ける。
- 裏面付受座を、バンドM3ねじまたは木ねじかタッピンねじ呼び3×2本で取り付ける。



△ 受座の左右に注意してください。(L・Rの表示あり)

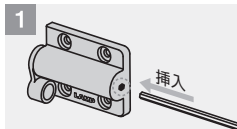
2. ブラケットおよび蓋の取付け

- ①～③の順に取り付ける。

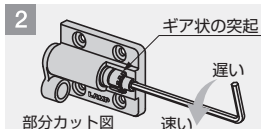


扉が開く速度の調整方法

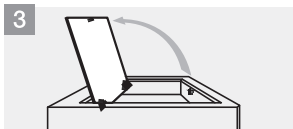
蓋が早く開くようにするには



左のブラケットに六角レンチ(呼び2.5)を差し込む。



ギア状の突起のかがりが外れるまでレンチを押し込みながら、反時計回りに30°強回し、レンチを抜く。



蓋を閉じ、手を離れた時スムーズに蓋が開くことを確認する。ばね力が足りなければ、①～③を繰り返す。(2回程度まで)

調整を戻すにはレンチを押し込むと時計回りに戻るので、それに合わせて力を緩める。

△ レンチを押し込まずに回したり、無理に回すと破損することがあります。

本製品に関するご質問・ご相談は、ご購入先の販売店 へのお問い合わせを推奨しております。

※弊社は代理店販売をメインとしておりますので、販売代理店へ先ずお問い合わせいただく事が、スムーズな対応にもなります。

SUGATSUNE スガツネ工業

TEL:03-3864-1122(代) 平日9:00~17:30 2024.03. 0829-6j